

# 向上心!

# 五月病を いっしょにばっせ!!

すべては無気力になってしまう五月病。  
五月病に負けないための3つの言葉を贈ります!



四月からの新しい環境の中でしどろしどろと疲れがたまります。

## 余裕

時には、「心の休息」をとることも大切です!

## 夢中



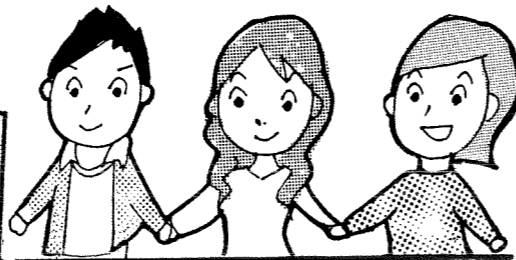
一度始めたことは続けているうちにさらに新しい魅力が見つかるものです。

全てを忘れて打ち込めるものがあると持ち続けましょう!

君は、決して一人ぼっちではありません!  
信じられる人の存在は君の生涯の宝です。

心から信じられる人がいることが君の生きる大きな力になります。

## 信頼



### 塾長からのメッセージ

# 君の未来は、君が創る!

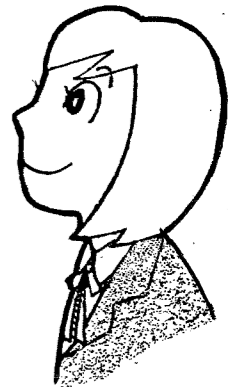
未来を信じなければ、何も始まらない……。

日々暗いニュースが伝えられています。本当にこの先この国や世界はどうなってしまうのか不安になってきます。そんな時君たちの明るい笑い声や笑顔は救いになります。

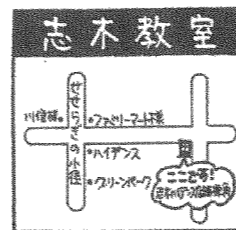
今、君たちに私が言えることがあるとすれば、それはこの時代だけでなく、君たちのご両親の時代も、おじいさんおばあさんの時代にも困難なこと、悲しいこと、辛いことがいつも同じようにたくさんあったのだということです。人はどんな時代でも未来を信じて生きてきました。

未来を信じて、今日という日を精いっぱい生きていくこと。それが君たちのなすべきことです。

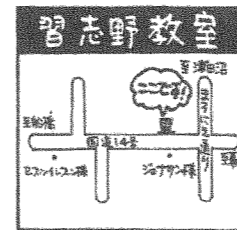
無気力な毎日から、君の未来は、やってくる。君の未来は、どんな時代でもやっぱり君が創るしかない。私はそう思います。



### 数検・英検・漢検 実施校!



志木市上宗岡4-6-27-131  
048(472)7618 (TEL)



習志野市谷津2-3-7  
047(452)6461 (TEL)

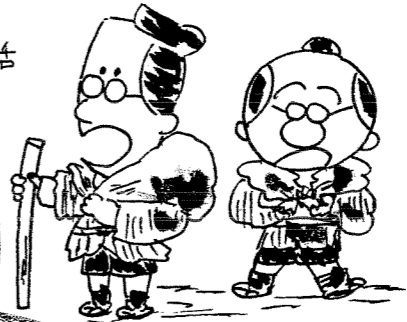
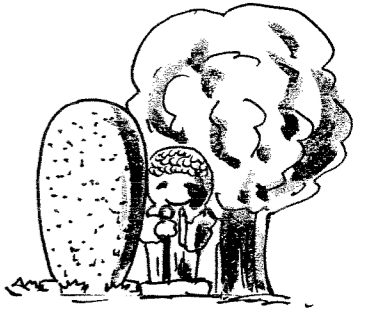
有限会社GANTS教育研究所

# 心 藤進ゼミナール

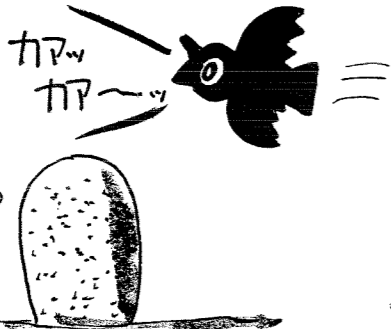
教室不在時はこちらへお問い合わせ下さい!

048(472)7819

勉強のこと、進路のこと、当塾はいつでも君の悩みにおこたえします! ——



# 東海道五十三次 おもしろい 噺



お江戸日本橋、七つ立ち」といって、言葉遣い、七つ列の夜明け前に出発し、明くる日はまた歩き、歩くのが常態でした。東海道を往來する旅人たちは、一日平均十里(約40km)を歩き、女性や子供さえも六里以上(約24km)は歩いたと云います。一日に歩く量が極端に少ない現代人には考えられないことです。

## 一日の歩む量

## 関所越え

東海道を往來する旅人は関所手形所持しなければならず、この手形を「手形」または「関所」で呼ぶ。特に女性の検査は常にきびしく行われ、これは大名の家族たちが、本国へ逃げるのを防止するためといわれています。とはいえ、主人は手形がなくても得意の芸を演じるだけで通してくれたり、キョット訛りの旅人でも改め後に袖の下を渡せば役人は大目に見てくれるという、いかげんともあったようです。

## とておきお呪文

長道中は、たびたび休息が必要なのですが、小休止のあと旅人たちは、立つときに必す「オニマトミシムカンカ」と三度呪文を唱えます。これを唱えたら絶対に忘れ物もしないといわれています。実は呪文が効くのではなく、唱えることが忘れ物の条件反射となるわけで、文句は何だかよかったですね。

## 道中への障害

東海道では、吉田と矢作に大橋があるだけで、後の川は、渡り船か、川越し人足による徒渡しとなっていました。これは幕府が、政略上架橋させなかったのですが、度重なる水害の増加で、口止めも余儀なくされた旅人たちにとっては、箱根の山や、関所よりもイヤな存在でした。大河の多い東海道ではお金がかかり、余裕のない旅人は、キツイ山越えでも、お金のあまりかからない中山道を使い、きました。

